| 科目名 | 人文科学実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 真部　翔子 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 8 | 時間数 | 120 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 公務員教養試験の社会分野での得点向上を目的とする。株式会社ウイネットのテキスト、ワークブックを中心に授業を進める。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 社会分野での得点向上を目標とし、公務員一次試験合格を目指す。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 株式会社ウイネット：『人文科学　テキスト』、『人文科学　問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～4 | 縄文・弥生・古墳時代・律令国家 | 講義　問題演習（縄文時代～奈良時代） |
| 5～8 | 武家社会の変遷 | 講義　問題演習（平安時代～鎌倉時代） |
| 9～12 | 戦国大名と織豊政権 | 講義　問題演習（室町時代、戦国時代） |
| 13～16 | 幕藩体制 | 講義　問題演習（江戸時代） |
| 17～20 | 明治時代 | 講義　問題演習 |
| 21～24 | 大正時代～昭和前期 | 講義　問題演習 |
| 25～28 | 第二次世界大戦の諸改革 | 講義　問題演習 |
| 29～32 | テーマ史 | 講義　問題演習 |
| 33～36 | 西洋の思想（古代・近世） | 講義　問題演習（古代の思想家や宗教改革） |
| 37～40 | 西洋の思想（近代・現代） | 講義　問題演習（ホッブズ、ロック、ルソーそれぞれの思想） |
| 41～44 | 東洋の思想 | 講義　問題演習（中国の思想家や日本の思想家） |
| 45～48 | 日本の文学（古典） | 講義　問題演習（様々な時代の文学、和歌集） |
| 49～52 | 日本の文学（現代文） | 講義　問題演習（明治以降の様々な文学） |
| 53～56 | 外国文学 | 講義　問題演習（イギリス、アメリカ、ロシアなど世界の主要都市の文学） |
| 57～60 | 日本の美術史・伝統芸能 | 講義　問題演習（室町、江戸、明治における文化） |
| 61～64 | 西洋の美術史 | 講義　問題演習（中世、近世、19世紀、20世紀のヨーロッパの美術） |
| 65～69 | 音楽 | 講義　問題演習（日本、西洋の音楽） |
| 70～72 | 古代文明 | 講義　問題演習（四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ） |
| 73～75 | ローマ帝国とキリスト教、ヨーロッパ世界の形成 | 講義　問題演習（ローマ帝国の盛衰、ゲルマン人の大移動、フランク王国） |
| 76～78 | 中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け | 講義　問題演習（封建社会の成立、十字軍の遠征、英仏戦争、大航海時代、ルネサンス、宗教改革） |
| 79～81 | 絶対王政と市民革命 | 講義　問題演習（絶対王政、三十年戦争、ロシア、プロイセン、イギリス革命、アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオン） |
| 82～84 | 列強の帝国主義政策 | 講義　問題演習（ウイーン体制、フランスの革命、イタリア、ドイツの統一、アメリカ南北戦争） |
| 85～87 | 第一次世界大戦 | 講義　問題演習（第一次世界大戦の一連の流れ、ロシア革命） |
| 89～91 | 第二次世界大戦～現代 | 講義　問題演習（世界恐慌からの流れ、戦後の動き） |
| 92～94 | イスラーム世界の歴史 | 講義　問題演習（イスラーム教、国家の発展） |
| 95～97 | 中国の歴史 | 講義　問題演習（各王朝の特徴） |
| 98～100 | テーマ史（キリスト教、東西交流） | 講義　問題演習（キリスト教の歴史） |
| 101～103 | 自然環境 | 講義　問題演習（様々な地形の種類） |
| 104～106 | 気候・土壌 | 講義　問題演習（ケッペンの気候区分や土壌帯、植物帯） |
| 107～109 | 民族・人口・交通・地図 | 講義　問題演習（人種・宗教） |
| 110～111 | 世界の農林水産業 | 講義　問題演習（世界の産業） |
| 112～113 | 世界の鉱工業 | 講義　問題演習（グラフを元に世界の主な鉱工業の特徴） |
| 114 | アジア・アフリカ | 講義　問題演習（アジア各国、アフリカ各国の産業） |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、平常点20%<br>成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。 | 公務員試験合格を目指すための授業のため、高い学習意欲が望まれます。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | 社会科学実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 川﨑　瑠美 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 5 | 時間数 | 75 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 公務員教養試験の社会分野での得点向上を目的とする。株式会社ウイネットのテキスト、ワークブックを中心に授業を進める。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 社会分野での得点向上を目標とし、公務員一次試験合格を目指す。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 株式会社ウイネット：『社会科学　テキスト』、『社会科学　問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～2 | 国会の仕組み、国会の種類 | テキストの講義 |
| 3～4 | 国会の権限、国会の運営 | テキストの講義 |
| 5～6 | 衆議院の優越 | テキストの講義 |
| 7～8 | 内閣の地位、内閣総理大臣の権限、内閣の総辞職 | テキストの講義 |
| 9～10 | 司法権と裁判所、司法権の独立 | テキストの講義 |
| 11～12 | 三審制、違憲立法審査権、裁判員制度 | テキストの講義 |
| 13～14 | 地方自治の本旨、地方自治のしくみ | テキストの講義 |
| 15～16 | 地方公共団体の事務、直接請求権 | テキストの講義 |
| 17～18 | 住民投票、地方財政 | テキストの講義 |
| 19～20 | 政党、圧力団体、選挙 | テキストの講義 |
| 21～22 | 国際経済と国際法、国際連合の成立 | テキストの講義 |
| 23～24 | 需要と供給、経済学説、市場、企業の種類 | テキストの講義 |
| 25～26 | 国民所得、景気変動、金融政策、財政政策、租税 | テキストの講義 |
| 27～28 | 日本経済の発展、国際経済、経済統合 | テキストの講義 |
| 29～30 | 労働問題、労働三法、労働三権 | テキストの講義 |
| 31～32 | 人口問題、社会保障制度 | テキストの講義 |
| 33～34 | 環境問題 | テキストの講義 |
| 35～75 | 社会科学の練習問題 | ワークブックの解説 |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、平常点20%<br>成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。 | 公務員試験合格を目指すための授業のため、高い学習意欲が望まれます。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | 自然科学実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 清水　笙子 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 4 | 時間数 | 60 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 公務員教養試験の社会分野での得点向上を目的とする。株式会社ウイネットのテキスト、ワークブックを中心に授業を進める。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 自然分野での得点向上を目標とし、公務員一次試験合格を目指す。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 株式会社ウイネット：『自然科学　テキスト＆問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～3 | 細胞 | 講義　問題演習（細胞の構造とはたらき、浸透圧） |
| 4～6 | 呼吸と光合成① | 講義　問題演習（光合成の反応について、葉緑体の名称など） |
| 7～9 | 呼吸と光合成② | 講義　問題演習（生体内での呼吸、内呼吸、外呼吸） |
| 10～12 | ヒトの恒常性 | 講義　問題演習（ヒトのホルモンの種類と、はたらき） |
| 13～15 | 生殖・性の決定 | 講義　問題演習（生殖の種類） |
| 16～18 | 遺伝 | 講義　問題演習（メンデルの遺伝、その他さまざまな遺伝） |
| 19～21 | 刺激と反応 | 講義　問題演習（人間の脳の働きや、眼球、耳の構造） |
| 22～24 | 生物の集団 | 講義　問題演習（生態系について） |
| 25～27 | 食物連鎖・物質の循環 | 講義　問題演習（食物連鎖の仕組み） |
| 28～30 | 植物の反応と調節 | 講義　問題演習（植物のホルモン、特にオーキシンの特徴） |
| 31～33 | 生物の分類と進化 | 講義　問題演習（様々な生物の分類と進化） |
| 34～36 | 地球の運動 | 講義　問題演習（地球の自転、公転について） |
| 37～39 | 太陽系 | 講義　問題演習（太陽系の惑星について） |
| 40～42 | 恒星・宇宙の誕生 | 講義　問題演習（恒星の動きや、明るさについて） |
| 43～45 | 地震 | 講義　問題演習（地震に仕組み、大森公式） |
| 46～48 | 火成活動 | 講義　問題演習（それぞれの岩石の特徴） |
| 49～51 | 地球の歴史 | 講義　問題演習（地球の歴史、地質時代） |
| 52～54 | 大気と海洋 | 講義　問題演習（大気の層や、海での現象） |
| 55～57 | 日本の天気 | 講義　問題演習（前線の種類、気団の種類と特徴） |
| 58～60 | 確認テスト | 学習した範囲のテスト |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、小テスト20%<br>成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(41点以上)・D(40点以下)とする。 | 公務員試験合格を目指すための授業のため、高い学習意欲が望まれます。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | 判断推理実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 黒崎　勝 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 6 | 時間数 | 90時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 公務員試験の判断推理分野での得点向上を目的とし、空間把握、命題，対応関係などの知能系分野の能力向上を図る。株式会社ウイネットのテキストとワークブックを併用し、授業を進める。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 公務員試験において、判断推理分野での得点の向上と１次試験合格を目標とする。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 株式会社ウイネット『課題処理（判断推理）テキスト＆問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～5 | 論理と集合 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 6～10 | 暗号解読 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 11～15 | 対応関係 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 16～20 | 順序関係 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 21～25 | 試合の勝敗 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 26～30 | 方位 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 31～35 | 位置関係 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 36～40 | 手順 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 41～45 | 数量関係 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 46～50 | 道順 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 51～55 | 一筆書き | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 56～60 | 平面図形の数・模様 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 61～65 | 軌跡 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 66～70 | 立体図形の構成・切断面 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 71～74 | 展開図 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 75～78 | サイコロ | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 79～81 | 投影図 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 82～84 | 折り紙 | テキストの講義、およびワークブックの解説 |
| 85～90 | 総合問題による復習 | 総合問題プリントの解説 |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、平常点20%<br>成績評価基準は、Ａ（80点以上）・Ｂ（60点以上）・Ｃ（40点以上）・Ｄ（40点未満）とする。 | 公務員試験合格を目指すための授業のため、高い学習意欲が望まれます。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | 数的推理実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 大矢　瑠璃香 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 5 | 時間数 | 75 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 公務員試験の数的推理分野での得点向上を目的とし、割合，方程式，不等式などの計算能力向上を図る。<br>株式会社ウイネットのテキストとワークブックを併用し、授業を進める。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 公務員試験において、数的推理分野での得点の向上と１次試験合格を目標とする。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 株式会社ウイネット『数的処理（数的推理）・資料解釈　テキスト＆問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～4 | 数と式の基本 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 5～8 | 方程式の応用 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 9～12 | 連立方程式 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 13～16 | 不等式 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 17～20 | 速度 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 21～24 | 距離計算 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 25～28 | 割合 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 29～32 | 能力 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 33～36 | 数の並びと規則 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 37～40 | 平面図形 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 41～44 | 円 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 45～48 | 面積 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 49～52 | 角度 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 53～56 | 立体図形 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 57～60 | 順列 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 61～64 | 組合せ | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 65～66 | 確率 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 67～69 | 魔方陣 | テキストの講義、および問題集の解説 |
| 70～75 | 総合問題による復習 | 総合問題プリントの解説 |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、平常点20%<br><br>成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。 | 公務員試験合格を目指すための授業のため、高い学習意欲が望まれます。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | 適性演習実践 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 大矢　瑠璃香 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 5 | 時間数 | 75 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 公務員試験の適性試験での得点向上を目的とし、株式会社ウイネットの適性問題を中心に計算問題，置き換え問題，図形問題などの演習問題を行う。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 公務員試験１次合格を目標とする | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 株式会社ウイネット　『適性問題（ＮＯ．１～ＮＯ．８０』 | | | | |

| 時間数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～10 | 適性問題 ＮＯ．１～ＮＯ．１０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 11 | 国家公務員　適性過去問題 | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 12～21 | 適性問題 ＮＯ．１１～ＮＯ．２０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 22 | 国家公務員　適性過去問題 | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 23～32 | 適性問題 ＮＯ．２１～ＮＯ．３０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 33 | 国家公務員　適性過去問題 | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 34～43 | 適性問題 ＮＯ．３１～ＮＯ．４０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 44 | 国家公務員　適性過去問題 | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 45～54 | 適性問題 ＮＯ．４１～ＮＯ．５０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 55 | 国家公務員　適性過去問題 | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 56～65 | 適性問題 ＮＯ．５１～ＮＯ．６０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 66 | 国家公務員　適性過去問題 | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| 67～75 | 適性問題 ＮＯ．６１～ＮＯ．７０ | 各自が問題が解いた後に、先生によるポイント解説 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 学習意欲50%、平常点50%<br><br>成績評価基準<br>Ａ（科目の理解、授業態度が優秀な者）Ｂ（科目の理解および授業態度が良好な者）Ｃ（科目の理解および授業態度がやや劣る者）Ｄ（科目の理解および授業態度が著しく劣る者または出席率が80%未満の者） | 公務員試験合格を目指すための授業のため、高い学習意欲が望まれます。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | ビジネス実務基礎 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 大矢　瑠璃香 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | ・社会常識を学び社会人として必要となる資質や人間力を学ぶ<br>・社内外の人とコミュニケーションを取る際のマナーや話し方を理解し実務に活かす<br>・電話応対の部分に関してはクラス内でロールプレイングを行う | | | | |
| 学習目標（到達目標） | ・社会人として恥ずかしくないマナーを身につけさせる<br>・全国経理学校協会主催　「社会人常識マナー検定３級」の合格を目標とする | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 全国経理教育協会　『社会人常識マナー検定テキスト2・3級』<br>全国経理教育協会　『社会人常識マナー検定試験最新過去問題3級』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～2 | 社会人としての自覚 | 社会人としての成長におけるステップアップと組織でのリーダーシップを学ぶ。 |
| 3～5 | 幅広い社会常識１ | 公共経済に関連する基礎用語を学ぶ。その後確認プリントを実施する。 |
| 6～8 | 幅広い社会常識２ | 労働環境、経営意識に関連する基礎用語を学ぶ。その後確認プリントを実施する。 |
| 9～10 | 日本語の意思伝達 | 社会人の共通用語である四字熟語とことわざ、慣用句を学ぶ。その後確認プリントを行う。 |
| 11～12 | 仕事の成果と人間関係 | 社外の人とコミュニケーションを取る上での顧客満足や社外交流のエチケットやコツを学ぶ。 |
| 13～15 | 効果的なものの伝え方 | 社外の人への言葉遣いと好感を持たれる話し方を学びクラス内で現場を想定としたやり取りを行う。 |
| 16～17 | 社外への発信 | 社外文書、社交文書の種類と形式を学び、実際の文書の作成を行う。 |
| 18～20 | 特別な電話応対 | 問い合わせ、クレーム電話への応対を学び、クラス内でロールプレイングを行う。 |
| 21～22 | 交際業務 | 慶事のマナー、パーティーのマナーとエチケットを学ぶ。祝儀袋や不祝儀袋を例題を参考に作成を行う。 |
| 23～24 | 押印 | 押印の重要性と判子の種類と意味について学ぶ。 |
| 25～30 | 社会人常識マナー３級　過去問題演習 | 上記で学んだことをふまえ、問題集の過去問題を解き検定対策を行う。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 検定結果70%、課題15%、平常点15%<br><br>成績評価基準は、Ａ（80点以上）・Ｂ（60点以上）・Ｃ（40点以上）・Ｄ（40点未満）とする。 | 必要部分をテキストで確認した後、確認プリントを実施し要点の理解を深める。なお、検定の直前期となった自宅学習として課題の配布を行う。 |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | Ｗｏｒｄ基礎演習 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 川﨑　瑠美 | 実務授業の有無 | 無 | | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 3 | 時間数 | 45 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | ・Ｗｏｒｄを使った文書作成を行う<br>・キータイピングに慣れる<br>・Ｗｏｒｄ検定３級の学習を通じ、ＭＯＳ取得を目指す | | | | |
| 学習目標（到達目標） | ・ビジネス文書を作成できるようになる<br>・Ｗｏｒｄ文書処理技能認定試験３級合格 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | ウイネット　　『Wordクイックマスター基本編』<br>サーティファイ　『Word文書処理技能認定試験　３級問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| １～2 | 文字入力・変換 | 実習 |
| 3～4 | コピー、移動および貼りつけ | 実習 |
| 5～6 | ページの書式設定 | 実習 |
| 7～8 | 文字の書式設定 | 実習 |
| 9～10 | 罫線と網掛け | 実習 |
| １１～12 | 禁則処理の設定 | 実習 |
| 13～15 | 表の作成・編集 | 実習 |
| 16～17 | グループ化 | 実習 |
| 18～19 | ヘッダーとフッターの設定 | 実習 |
| 20～23 | 図形の作成・挿入・編集 | 実習 |
| 24～26 | クリップアートの挿入 | 実習 |
| 27～28 | コメントの挿入 | 実習 |
| 29～30 | タブの設定 | 実習 |
| 31～32 | ビジネス文書の作成 | 実習 |
| 33～45 | 練習問題 | 実習 |
| | | |
| | | |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、平常点20%<br><br>成績評価基準は、Ａ（80点以上）・Ｂ（60点以上）・Ｃ（40点以上）・Ｄ（40点未満）とする。 | 特になし |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | Ｅｘｃｅｌ基礎演習 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 黒崎　勝 | 実務授業の有無 | 無 | | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 3 | 時間数 | 45 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | ・Ｅｘｃｅｌを利用した表計算ソフトの操作を実習する<br>・テキストおよび演習問題を通して、ワークシートの作成、グラフ、データベース機能を学び、活用能力を習得する<br>・Ｅｘｃｅｌ検定３級の学習を通じ、ＭＯＳの取得を目指す | | | | |
| 学習目標（到達目標） | ・Ｅｘｃｅｌを使用してワークシートの作成、グラフ、データベース機能の活用<br>・Ｅｘｃｅｌ表計算処理技能認定試験３級合格 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | ウイネット　　『Ｅｘｃｅｌクイックマスター基本編』<br>サーティファイ　『Ｅｘｃｅｌ表計算処理技能認定試験３級問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～2 | データ入力、保存、移動・複写 | 実習 |
| 3～4 | 罫線・表の作成 | 実習 |
| 5～6 | 並べ替え、ページ設定・印刷 | 実習 |
| 7～15 | グラフの作成 | 実習 |
| 16～20 | ウィンドウの操作 | 実習 |
| 21～25 | セルの書式設定 | 実習 |
| 26～29 | ＳＵＭ関数、ＡＶＥＲＡＧＥ関数 | 実習 |
| 30～32 | ＭＡＸ関数、ＭＩＮ関数 | 実習 |
| 33～35 | ＣＯＵＮＴ関数、ＣＯＵＮＴＡ関数 | 実習 |
| 36～38 | ＲＯＵＮＤ関数 | 実習 |
| 39～42 | データ抽出 | 実習 |
| 43～45 | 練習問題 | 実習 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 定期試験80%、平常点20%<br><br>成績評価基準は、Ａ（80点以上）・Ｂ（60点以上）・Ｃ（40点以上）・Ｄ（40点未満）とする。 | 特になし |

| 実務経験教員の経歴 | － |
|---|---|

| 科目名 | PowerPoint演習 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 清水　笙子 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | ・パワーポイントの操作方法を理解する<br>・プレゼンテーションの作成を行う<br>・作成スライドについてクラス内で発表会を行う<br>・ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ検定初級の学習を通じ、資格取得を目指す | | | | |
| 学習目標（到達目標） | ・プレゼンテーションの作成ができるようになる<br>・プレゼンテーション能力の向上を目指す<br>・PowerPointプレゼンテーション能力技能認定試験初級 合格 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | ウイネット:『PowerPoint クイックマスター』<br>サーティファイ：『PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集』 | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1 | 基礎知識　プレゼンテーションの作成、デザイン | パワーポイントの基礎知識、ページの作成を編集を行う |
| 2 | 文字の編集 | 作成したページ上の文字書式の設定を行う |
| 3 | オブジェクトの作成 | 図形の描画や表の挿入を行い、よりページそのものの表示を分かりやすくする |
| 4～5 | 表示効果とハイパーリンク | 画面切り替えの効果やハイパーリンクの挿入を行いスライドを実行する |
| 6～7 | テーマのカスタマイズと既存データの活用　SmartArtの活用 | テーマのカスタマイズを行いSmartArtを挿入してページの設定を行う |
| 8～9 | 総合学習問題 | クイックマスターのまとめとして練習問題を解く |
| 10～14 | 問題集初級　練習問題1～5 | 問題集初級の練習問題を行う |
| 15～17 | 問題集初級　模擬問題1～3 | 問題集初級の模擬問題を行う |
| 18 | 問題集初級　サンプル問題 | 問題集初級素材CD-ROM内にあるサンプル問題を行う |
| 19 | 課題スライド　説明 | 授業総括としての課題「わたしの好きなもの」に関するスライド作成の注意事項と発表ルールの説明を行う |
| 20～27 | 「わたしの好きなもの」スライド作成 | 発表を行うにあたってのスライド作成を行う。なお、画像の添付、画面効果の挿入は必ず行うこと |
| 28～29 | 「わたしの好きなもの」スライド発表会 | 一人ずつ作成したスライドの発表を行う。聞き手はその際の発言や立ち居振る舞いについての評価を行う |
| 30 | パワーポイント実習総括 | これまでの授業を通して学んだことの振り返り、実務での活かし方についての確認を行う |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 検定結果80%、平常点20%<br><br>成績評価基準は、Ａ（80点以上）・Ｂ（60点以上）・Ｃ（40点以上）・Ｄ（40点未満）とする。 | 特になし |

| 実務経験教員の経歴 | |
|---|---|

| 科目名 | 面接対策 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当教員 | 大矢　瑠璃香 | | 実務授業の有無 | 無 | |
| 対象学科 | 公務員科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必須 | 単位数 | 8 | 時間数 | 120 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | ・面接試験に向けた面接指導<br>・前半は面接カードの作成、入退室指導等、クラス全体への指導を行う。<br>後半は模擬面接とその振り返りを行い、面接において自身の伝えたいことを伝える練習を行う。<br>・一部機関で実施されるグループ面接、集団討論の対策も実施する。 | | | | |
| 学習目標（到達目標） | 公務員試験における面接試験の合格 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 特になし | | | | |

| 回数 | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 |
|---|---|---|
| 1～10 | 面接カード作成 | テキスト、参考資料による指導 |
| 11～15 | 入退室指導 | テキスト、参考資料による指導 |
| 16～20 | 資料の調べ方(各機関のHP,パンフレットの見方、調べ方) | テキスト、参考資料による指導 |
| 21～50 | グループに分かれ、模擬面接 | 模擬面接と振り返り |
| 51～100 | 教員との模擬面接 | 模擬面接と振り返り |
| 101～110 | グループ面接対策 | 模擬面接と振り返り |
| 111～120 | 集団討論対策 | 模擬討論と振り返り |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| 評価方法・成績評価基準 | 履修上の注意 |
|---|---|
| 学習意欲20%、平常時80%<br><br>成績評価基準<br>A（授業態度が優秀な者）B（授業態度が良好な者）C（授業態度がやや劣る者）D（授業態度が著しく劣る者または出席率が80%未満の者） | 特になし |

| 実務経験教員の経歴 | |
|---|---|